

登録コード	E4209900	開講年度	2026			
授業科目	保育内容総論				担当教員	杉村 僚子
英文授業名	Introduction to Guidance Substance in Early Childhood Education				副担当	水口 崇
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生
講義室	教育N101講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	就学前教育である幼稚園教育は、その方法において小学校以降の学校教育とは異なっている。その理論と実践について具体的に解説する。保育のねらいと内容、保育方法の原理、保育の環境、援助の方法などについて、『幼稚園教育要領』に基づき解説するとともに、実際の保育場面のビデオを資料として事例検討を行う。（受講生の人数により、多い場合にはレポート提出、少ない場合にはグループ討論を行う。）					
(5)授業計画	第1回：保育とは何か 第2回：幼稚園教育の基本、幼稚園教育の目標 第3回：保育の領域とねらい 第4回：保育の内容 第5回：保育の環境 第6回：保育方法の原理 第7回：子どもの理解 第8回：保育形態と環境構成 第9回：保育における情報機器及び教材の活用方法 第10回：保育者の援助・指導の方法 第11回：保育計画と指導計画 第12回：保育の評価 第13回：家庭との連携（保護者に対する支援） 第14回：幼稚園・保育所・小学校との連携【授業アンケートの実施】					
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・レポート及びプレゼンテーション内容により、みずからが考え、みずからの意見を表現できるかを はかる（30%） ・定期試験により、保育内容についての実質的な知識・技能を備え、それらを応用できるかを はかる（70%） ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書かれていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。					
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の教育問題について深く理解すること。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	杉村僚子メール（sugimura_r@ybb.ne.jp）					
【教科書】	特に無し					
【参考文献】	適宜紹介する					